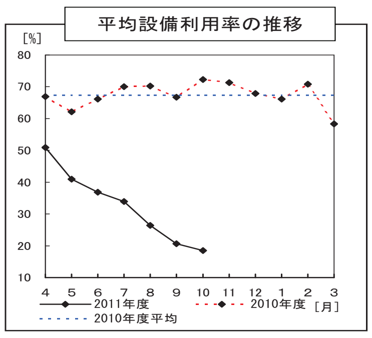
わが国の原子力発電所の運転実績

会社名	発電所名	炉型	認可出力〔万kW〕	2011年10月 発電電力量〔MW時〕	設備利用率〔%〕	稼働時間〔時〕	時間稼働率①〔%〕	備考
原電	東海第二	BWR	110.0	0	0.0	0	0.0	東北地方太平洋沖地震に伴う停止（3/11-〈第25回定検中〉）
	敦賀 1	〃	35.7	0	0.0	0	0.0	第33回定検中（1/26-）
	〃 2	PWR	116.0	0	0.0	0	0.0	*1
北海道	泊 1	〃	57.9	0	0.0	0	0.0	第17回定検中（4/22-）
	〃 2	〃	57.9	0	0.0	0	0.0	第16回定検中（8/26-）
	〃 3	〃	91.2	701,686	103.4	744	100.0	
東北	女川 1	BWR	52.4	0	0.0	0	0.0	東北地方太平洋沖地震に伴う停止（3/11-〈第20回定検中〉）
	〃 2	〃	82.5	0	0.0	0	0.0	第11回定検中（10/11/6-, 起動中地震により自動停止）
	〃 3	〃	82.5	0	0.0	0	0.0	東北地方太平洋沖地震に伴う停止（3/11-〈第7回定検中〉）
	東通 1	〃	110.0	0	0.0	0	0.0	第4回定検中（2/6-）
東京	福島第一 1	〃	46.0	0	0.0	0	0.0	東北地方太平洋沖地震に伴う停止（3/11-）
	〃 2	〃	78.4	0	0.0	0	0.0	東北地方太平洋沖地震に伴う停止（3/11-）
	〃 3	〃	78.4	0	0.0	0	0.0	東北地方太平洋沖地震に伴う停止（3/11-）
	〃 4	〃	78.4	0	0.0	0	0.0	第24回定検中（10/11/30-）
	〃 5	〃	78.4	0	0.0	0	0.0	第24回定検中（1/3-）
	〃 6	〃	110.0	0	0.0	0	0.0	第22回定検中（10/8/14-）
	福島第二 1	〃	110.0	0	0.0	0	0.0	東北地方太平洋沖地震に伴う停止（3/11-）
	〃 2	〃	110.0	0	0.0	0	0.0	東北地方太平洋沖地震に伴う停止（3/11-）
	〃 3	〃	110.0	0	0.0	0	0.0	東北地方太平洋沖地震に伴う停止（3/11-）
	〃 4	〃	110.0	0	0.0	0	0.0	東北地方太平洋沖地震に伴う停止（3/11-）
	柏崎刈羽 1	〃	110.0	0	0.0	0	0.0	第16回定検中（8/6-）
	〃 2	〃	110.0	0	0.0	0	0.0	タービン制御系の油漏えいに伴う中間停止（07/7/5-）
	〃 3	〃	110.0	0	0.0	0	0.0	新潟県中越沖地震に伴う中間停止（07/7/16-〈第10回定検中〉）
	〃 4	〃	110.0	0	0.0	0	0.0	新潟県中越沖地震に伴う中間停止（07/7/16-〈第10回定検中〉）
	〃 5	〃	110.0	832,110	101.7	744	100.0	
	〃 6	ABWR	135.6	1,037,110	102.8	744	100.0	
	〃 7	〃	135.6	0	0.0	0	0.0	第10回定検中（8/23-）
中部	浜岡 3	BWR	110.0	0	0.0	0	0.0	第17回定検中（10/11/29-）
	〃 4	〃	113.7	0	0.0	0	0.0	点検停止（5/13-）
	〃 5	ABWR	138.0	0	0.0	0	0.0	点検停止（5/14-）
北陸	志賀 1	BWR	54.0	0	0.0	0	0.0	*2
	〃 2	ABWR	※ 120.6	0	0.0	0	0.0	第3回定検中（3/11-）
関西	美浜 1	PWR	34.0	0	0.0	0	0.0	第25回定検中（10/11/24-）
	〃 2	〃	50.0	370,166	99.5	744	100.0	
	〃 3	〃	82.6	0	0.0	0	0.0	第25回定検中（5/14-）
	高浜 1	〃	82.6	0	0.0	0	0.0	第27回定検中（1/10-）
	〃 2	〃	82.6	645,001	105.0	744	100.0	
	〃 3	〃	87.0	686,409	106.0	744	100.0	
	〃 4	〃	87.0	0	0.0	0	0.0	第20回定検中（7/21-）
	大飯 1	〃	117.5	0	0.0	0	0.0	*3
	〃 2	〃	117.5	890,805	101.9	744	100.0	
	〃 3	〃	118.0	0	0.0	0	0.0	第15回定検中（3/18-）
	〃 4	〃	118.0	0	0.0	0	0.0	第14回定検中（7/22-）
中国	島根 1	BWR	46.0	0	0.0	0	0.0	自主点検に伴う停止（10/3/31-〈第29回定検中〉）
	〃 2	〃	82.0	608,268	99.7	744	100.0	
四国	伊方 1	PWR	56.6	0	0.0	0	0.0	第28回定検中（9/4-）
	〃 2	〃	56.6	420,089	99.8	744	100.0	
	〃 3	〃	89.0	0	0.0	0	0.0	第13回定検中（4/29-）
九州	玄海 1	〃	55.9	431,334	103.7	744	100.0	
	〃 2	〃	55.9	0	0.0	0	0.0	第23回定検中（1/29-）
	〃 3	〃	118.0	0	0.0	0	0.0	第13回定検中（10/12/11-）
	〃 4	〃	118.0	101,838	11.6	86	11.5	復水器真空低下に伴う自動停止（10/4-）
	川内 1	〃	89.0	0	0.0	0	0.0	第21回定検中（5/10-）
	〃 2	〃	89.0	0	0.0	0	0.0	第20回定検中（9/1-）
合計または平均			4,896.0	6,724,816	18.5	7,526	18.7	
（　）は前年度			(4,884.7)	(26,257,416)	(72.3)	(29,103)	(72.4)	
発電電力量の対前年度伸び率〔%〕				▲ 74.4				
時間稼働率②							18.0	
（　）は前年度							(71.5)	

備考：*1　一次冷却材中の放射能濃度上昇に伴う点検停止（5/7-〈第18回定検中〉）
*2　原子炉冷却材再循環ポンプ軸封部取替に伴う停止（3/1-〈第13回定検中〉）
*3　第24回定検（10/12/10-, 11/3/13より調整運転, 蓄圧タンク圧力の低下に伴う停止〈7/16-〉）

※お断り
圧力プレート設置に伴い、志賀２は135.8万ｋＷから120.6万ｋＷに出力を変更している。各表のデータは、変更後の数値に基づく。
福島第一１～４号機は震災停止後、既に廃止を決定しているが、電気事業法に基づく届出が完了するまでの間、発電設備容量に含めて算出している。

平均設備利用率の推移



炉型別平均設備利用率

2011年10月

炉型	基数	出力〔万kW〕	設備利用率〔%〕
BWR	30	2,868.2	11.6
PWR	24	2,027.8	28.2

電力会社別平均設備利用率

2011年10月

会社名	基数	出力〔万kW〕	設備利用率〔%〕
日本原子力発電	3	261.7	0.0
北海道	3	207.0	45.6
東北	4	327.4	0.0
東京	17	1,730.8	14.5
中部	3	361.7	0.0
北陸	2	174.6	0.0
関西	11	976.8	35.7
中国	2	128.0	63.9
四国	3	202.2	27.9
九州	6	525.8	13.6

$$\text{設備利用率} = \frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間数}} \times 100(\%)$$

$$\text{時間稼働率①} = \frac{\text{発電時間数}}{\text{暦時間数}} \times 100(\%)$$

$$\text{時間稼働率②} = \frac{(\text{認可出力} \times \text{稼働時間})\text{の合計}}{(\text{認可出力} \times \text{暦時間})\text{の合計}} \times 100(\%)$$

わが国の原子力発電所運転速報

10月の設備利用率18.5％に

定検続き、冬季電力需要に向け節電訴え

原産協会の調べによると、十月の国内原子力発電所の稼働状況は、総発電電力量六十七億二千四百八十二万kWh（対前年同期比七四・四％減）、設備利用率一八・五％（同五三・八ポイント減）と、震災影響、再稼働への安全確認に加え、九州電力玄海4号機が四日に「復水器真空異常信号低」信号発報で自動停止したことから、一層落ち込むこととなった。月末時点で運転中のプラントは十基。

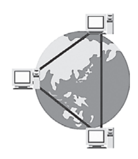
四日に停止した玄海4号機は、トラブルの原因・対策を取りまとめ、国による妥当性確認を受け、十一月一日に再稼働した。同機は、1号機と合わせ、十二月にも定期検査に入る予定で、現在、停止中の九州電力の他プラントとともに、全六基の原子炉の停止が継続した場合、火力発電所等の補修時期調整や、石油・LNGなどの代替燃料の追加、他社からの受電量の増加他、供給対策を総動員したとしても、昨年並みの寒さとなれば、最大電力需要時に二％程度の供給力不足になるおそれが見込まれ、同社では今冬、五％以上の節電を呼びかけている。

また、関西電力でも現在、七基の原子炉が定期検査中だが、再稼働できない場合、今冬の電力需給状況が非常に厳しくなることから、一〇％以上の節電を呼びかけている。

多くの発電施設が震災影響を受けている東京電力では、今冬、二百二十～三百四十万kW程度の供給予備力が確保できるとしているが、急激な気温変動に備え、今夏同様、引き続き節電への協力を呼びかけている。

東北電力女川発電所では、大震災の影響で、当初工程より遅れが生じたものの、免震構造を採用した事務新館が十月三十一日に完成した。耐震性向上を施し、「緊急対策室」機能を確保しており、十一月より業務を開始する。

原産新聞の記事検索



http://www.jaif.or.jp/

無料

原産協会が発行する「原子力産業新聞」では、10年間の記事データベースから即座に目的の記事を検索できるサービスを、原産協会会員、原産新聞購読者を対象に行っています。何回利用しても無料です。

また、一般の方にも2002年4月からさかのぼって1955年9月25日の創刊号までは、紙面のPDF版が当協会HP「電子図書館」からご覧いただけます。
PDF版のキーワード検索も年度単位でご利用いただけるようになりました。

□対象：原産会員、原産新聞購読者
ご利用にはユーザー名（ＩＤ）、パスワードが必要です。
電子メールで購読者コード、組織名、部署名、お名前、ご連絡先電話番号を明記してお申し込みください。折り返し、IDとパスワードを返送します。
□お申込み： information @jaif.or.jp
□お問合せ：（社）日本原子力産業協会　情報・コミュニケーション部（TEL03-6812-7103）

【著作権】（社）日本原子力産業協会

「原産新聞ヘッドラインニュース」

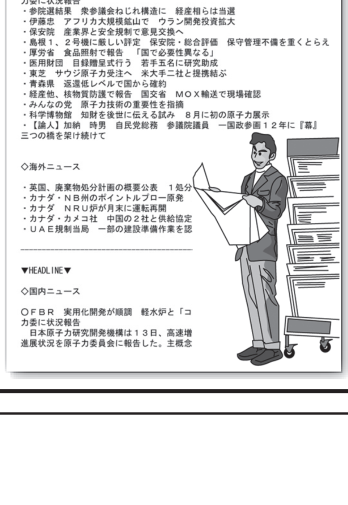
無料メールマガジン

原子力産業新聞は、最新号の見出しと要約を、毎週月曜日までに電子メールを使って配信する無料メールマガジン「原子力産業新聞ヘッドラインニュース」のサービスを行っています。
メールマガジンの配信をご希望の方は、電子メールまたはＦＡＸで、電子メールアドレス、組織名、部署名、お名前、ご連絡先電話番号を明記してお申し込みください。

お申込み先　shinbun@jaif.or.jp

こちらからも直接お申込みいただけます。
○原産ホームページ（http://www.jaif.or.jp/）
○まぐまぐ（http://www.mag2.com/）

（社）日本原子力産業協会　情報・コミュニケーション部
（TEL03-6812-7103、FAX03-6812-7110）


◇◇原子力産業新聞　２０１０年７月１５日号 ヘッドラインニュース◇◇

▼INDEX▼

◇国内ニュース

・ＦＢＲ　実用化開発が順調　軽水炉と「コスト競合可能」　原子力機構　原子力委に状況報告
・参院選結果　衆参議会ねじれ構造に　経産相らは当選
・伊藤忠　アフリカ大規模鉱山で　ウラン開発投資拡大
・保安院　産業界と安全規制で意見交換へ
・島根１、２号機に厳しい評定　保安院・総合評価　保守管理不備を重くとらえ
・厚労省　食品照射で報告　「国で必要性異なる」
・医用財団　目録贈呈式行う　若手五名に研究助成
・東芝　サウジ原子力受注へ　米大手二社と提携結ぶ
・青森県　返還低レベルで国から確約
・経産他、核物質防護で報告　国交省　ＭＯＸ輸送で現場確認
・みんなの党　原子力技術の重要性を指摘
・科学博物館　知財を後世に伝える試み　８月に初の原子力展示
・【論人】加納　時男　自民党総務　参議院議員　一国政参画１２年に『幕』三つの橋を架け続けて

◇海外ニュース

・英国、廃棄物処分計画の概要公表　１処分
・カナダ・ＮＢ州のポイントルプロー原発
・カナダ　ＮＲＵ炉が月末に運転再開
・カナダ・カメコ社　中国の２社と供給協定
・ＵＡＥ規制当局　一部の建設準備作業を認

▼HEADLINE▼

◇国内ニュース

○ＦＢＲ　実用化開発が順調　軽水炉と「コ
力委に状況報告
日本原子力研究開発機構は１３日、高速増
進展状況を原子力委員会に報告した。主概念